



第17回帯広市まちづくりデザイン賞が決定！ すてきな都市景観を紹介します

広々とした青空、日高山脈の山並み、緑豊かな自然。こうした帯広のイメージと調和し、人々に潤いや安らぎをもたらす良好な景観の形成を推進するため、平成17年から「帯広市まちづくりデザイン賞」として、優れた建築物を表彰しています。

問い合わせ 都市政策課（市庁舎6階、☎65・4175）

市ホームページID.1013770



素敵な景観、こちらからも
Instagram
(都市政策課Instagram)



スロウリビング SLOW living (西16北1)

建物前の植栽や国道と建物の間の庭が、交通量の多い場所に心地良さと潤いを創り出しています。



駐車場から庭を抜けて建物に向かう楽しい仕掛け！



WK邸 (市内南地区)

愛情を注ぎ、熱意を持って作られた家とガーデンの一体的な空間が、和む景観や潤いを周辺にもたらしめています。



16年に渡って作り上げてきたガーデン！

第60回 60th Obihiro Ice Festival

おびひろ氷まつり

とき **1/27 FRI**・**28 SAT**・**29 SUN** ところ **緑ヶ丘公園一帯**

昭和38年、帯広小学校グラウンド（現在の中央公園）の特設リンクから始まったおびひろ氷まつりは、今年で60回目を迎えます。冬の思い出づくりに、家族や友人とお越しください。

問い合わせ 帯広のまつり推進委員会（西2南12、エスタ東館2階、☎22・8600）、観光交流課（市庁舎7階、☎65・4169）



▲公式ホームページ

60周年の ここを見てほしい！

恒例の大すべり台や市民手作りの冰雪像、氷のお面のほか、自転車試乗会、60周年を祝う氷彫刻など、さまざまな氷のイベントを開催します。

このほか、冰雪像のライトアップや花火大会による幻想的な世界、心も体も温まるおいしいグルメも楽しめます。



第40回の氷まつりの様子(平成15年)

無料シャトルバスをご利用ください

会場周辺の駐車場は大変混雑します。とかちプラザ（西4南13）、帯広厚生病院（西14南10）を発着するシャトルバスをご利用ください。

※詳細は公式ホームページ参照



「市民冰雪像コンクール」参加者募集

用意された雪や氷を使って、5日間で冰雪像を制作するコンクールを実施します。1人から参加可能。1月6日(金)までに電話で申し込みください。

部門 一般参加の部（審査対象外）、コンクールの部（審査対象）

制作期間 1月21日(土)～25日(休)

申し込み先 おびひろ氷まつり実行委員会（株式会社 新生、☎25・1248）

市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch)毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ (毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15～9:20
おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30～9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihoro.hokkaido.jp)

OBIHIRO
CAMERA
REPORT

オビヒロカメラレポ



北海道日本ハムファイターズのプロジェクト「北海道179市町村応援大使2022」の一環として、帯広市応援大使の清水優心選手・杉浦稔大選手が、杉浦選手の母校でもある広陽小学校を訪問し、児童と交流しました。

日ハム選手が広陽小学校に！



質問コーナーでは、杉浦選手の小学校時代のエピソードや清水選手の野球を始めたきっかけなどを聞いたほか、選手と児童がキャッチボールをするなど、会場は大盛り上がり！子どもたちの笑顔があふれた楽しい時間となりました。(11月25日、広陽小学校)



快晴の冬空の下、動物園の冬期開園が始まりました。開園時間の11時には30人以上が並び、冬の動物たちと会えるのを皆さん心待ちにしている様子でした。

冬期開園スタート！



当日の最低気温はマイナス10度。薄氷の張るプールを泳ぐゴマフアザラシやふわふわの冬毛をまとったエゾタヌキなど、夏とは違う動物たちの姿がとても魅力的でした。



冬期開園日は2月26日(日)までの土・日曜日と祝日です。冬ならではの動物園をぜひお楽しみください。(12月3日、動物園)

新型コロナウイルス感染症に関する相談先

- ◆感染の疑いがある場合や感染に関する一般的な相談：
北海道健康相談センター ☎0120・501・507、24時間
 - ◆陽性になり自宅で療養している人の体調などに関する相談：
北海道陽性者健康サポートセンター ☎0120・303・111、24時間
- ※感染の不安やご自身の健康が心配な場合には、健康推進課でも相談を受け付けています。(☎25・9721)